



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.104 2009.12.10

発行

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に

090-2156-3510

核兵器のない世界を

東京ほくと医療
生協学習会

広島平和文化センター理事長

スティーブン・リーパー氏が記念講演



講演するリーパー氏 9日、赤羽会館

9日夜、赤羽会館大ホールで、東京ほくと医療生協主催の学習会「核兵器のない世界を——世界の変化と平和市長会議の取り組み」が開かれ、広島平和文化センター理事長のスティーブン・リーパー氏が記念講演をおこないました。

「いま世界は戦争文化から平和文化へ切り替わる時です」と切り出したリーパー氏は、アメリカの力が弱体化し、オイル（油）の争奪をめぐって激しい競争の時代に突入しているもとの、

世界がこれを平和的に解決するのか、殺し合いの戦争で決着をつけるのか、岐路に立っていると指摘。「戦争を止めるのがわれわれの仕事だ」と強調しました。

リーパー氏は「核のない世界」を訴えたオバマ演説を高く評価するとともに、「いまこそ『日本のガイアツ（外圧）』が必要だ」と喝破。日本が「核をつくらない」「核をなくせ」「日本に米軍基地はいらない」とはっきり発言することが、アメリカと世界を変える大

きな力になると訴えました。

どうしたら核はなくせるのか——この問いにリーパー氏は「部分的措置の積み重ねでは核廃絶の先延ばしにしかならない。来年5月のNPT再検討会議にむけ『核兵器廃絶にむけた国際交渉を始めよ』の世論を大きくすることが何よりも大事だ」と強調。「サツカーでは90分走り回ってシュートのチャンスはほんの数秒。核兵器をなくすには、今がまさにシュートのチャンスです」とよびかけました。

平和市長会議 と連携し平和事業の推進を

1982年、第2回国連軍縮特別総会において広島市長が、世界の都市が国境を越えて連帯し、ともに核兵器廃絶への道を切り開こうと、核兵器廃絶に向けた都市連帯をよびかけました。「平和市長会議」は、この趣旨に賛同する世界各国の都市（11月現在、134ヵ国3241都市）で構成された団体です。

日本共産党北区議員団は、さきの北区議会第4回定例会で、平和市長会議のすすめている「ヒロシマ・ナガサキ議定書」に賛同する署名活動に協力することなど、広島市や長崎市などと連携した平和事業の推進を求めました。

北区庁舎
改築問題

区民合意ないまま数百億円の「移転・建替え」案を押しつけ

北区は説明責任果たせ

日本共産党北区議員団は、北区庁舎改築問題について、以下の声明を発表しました。



北区庁舎改築問題に関する声明

2009年12月8日 日本共産党北区議員団

1、北区は昨年度、老朽化した北区役所庁舎について、耐震補強工事と大規模改修をおこなうA・B案、庁舎を建替えるC・D案の4案を示し、検討を開始した。ところが今年度、区議会の「庁舎のあり方検討特別委員会」の始動からわずか4ヵ月で、区は「移転・建替え」のD案が最適とする「北区役所の庁舎のあり方に関する基本方針（案）」（以下、「基本方針案」）をまとめあげ、議会への了承を求めてきた。日本共産党北区議員団は、区民合意のないまま「移転・

建替え」案への方向づけをおこなう「基本方針案」には反対の立場を表明した。

11月13日に開かれた庁舎検討特別委員会は、委員長のとりまとめで「基本方針案の改築という方向性を了承する」と結論づけたが、わが党が採決での態度表明を求める動議を提出したのに対し、これを否決して委員長のとりまとめが強行されたことは、極めて遺憾である。

2、庁舎の改築は多額の税金を必要とする一大事業であり、北区が基本姿勢とする「区民とともに」の立場が最も誠実に求められる課題である。しかし、これまでの庁舎のあり方をめぐる検討においては、区民意見や議会の意向が十分に反映されているとは決していえない。

7月25日付「北区ニュース」特集号で「区民アンケータがおこなわれたが、実

施期間はわずか1ヵ月で回答は537件、職員むけアンケートも回答率が5%程度にとどまった。区は「基本方針案」についてパブリック・コメントを実施するとしているが、期間はまたしても1ヵ月である。さらに、庁舎問題でも区民が直接質問できる機会である「まちかどトーク」も「財政見通しがたたない」との理由で、12月の開催を中止してしまった。

学識経験者と区の職員で構成される庁内の専門委員会と議会の特別委員会の関係でも、専門委員会が先行して方針を決め、特別委員会へは1ヵ月も遅れて議事録が示されるという運営が繰り返された。これでは、議会が専門委員会の結論を事後承認する役割しか与えられないことになる。

日本共産党北区議員団は、北区に対し、区民への説明責任を果たすよう厳しく求めるものである。

3、「基本方針案」が、財源や移転先については白紙のまま、「移転・建

替え」案だけにしほりこんでいるのは大きな問題である。深刻な景気悪化が続き、来年度、大幅な税収減が予想されるもとで、建物だけで150億円、土地代を含めれば数百億円という計画に、区民の厳しい目が注がれることは疑いがなく、区は「用地や財源などの問題についてはこれからの検討課題」としているが、確固とした裏づけもないまま「移転・建替え」案だけにしほりこむとすれば、無責任のそしりを免れないことを率直に指摘しなければならぬ。

よって、日本共産党北区議員団は、「基本方針案」について再検討することを求めるものである。

4、現在の庁舎については耐震性に問題があり、来庁者や職員の安全を守るための対策が必要なのは明らかである。日本共産党北区議員団は、庁舎改築の計画がどのようにまとまるにせよ、暫定的な耐震補強工事をただちにこなうことを強く求めるものである。

集まれ! 平和好き 12月20日(日)午後2時・滝野川会館303集会室

VOICE平和企画 主催: VOICE (被爆体験を語り継ぎ、核兵器の使用を許さない北区青年の会)